

祖生 集落支援 だより

2025年12月



ふれあいハイキング 協力活動報告

毎年恒例の「ふれあいハイキング」が、今年も11月3日に開催されました。今年のコースは、祖生公民館を出発し、入野の滝で折り返す全長5.2kmの道のりでした。途中にさまざまなゲームやクイズが設けられ、各種目で1位になったチームや個人に景品が贈られました。

今年は48名の参加者に加え、公民館職員や地区ボランティア21名が運営スタッフとして参加しました。私もスタッフの一員として、入野の滝そばの鳴瀧山観音寺の広場で「大声大会」を担当しました。参加者は音量測定器に向かって大声を出し、その大きさを競います。「ヤッホー」「アー」といった定番の声だけでなく、「ブラジルのみなさん、聞こえますかー！」といったユーモアあふれる叫びも響き、会場は笑いに包まれました。

また、今年はハイキングに備えての山道整備にも参加しました。しばらく手が入っていなかったこともあり、草木の生い茂りや落ち葉、倒木などで道は荒れた状態でした。そこで、公民館職員や地区の有志の皆さんとともに、草刈りや木々の剪定、落ち葉掃き、斜面の補正、倒木の処理、滑落防止の丸太設

置、ロープ張りなど、さまざまな作業を行いました。事前に地元の方の草刈り等の協力もあったおかげで作業は予定していた時間より早く終わらすことができました。

実際に整備に関わったことで、表からは見えない多くの準備が、このイベントを安全で心地良いものにしているのだと感じました。地区の皆さん方が力を合わせて支えてくださっているおかげで、多くの参加者が安心して楽しめるのだと実感し、改めて深い感謝の気持ちが湧きました。これからも地区の皆さんとのつながりを大切にしながら、できる限り地域活動に関わっていきたいと思います。



下南自治会での活動報告

今年度の集落支援活動では、まだ戸別訪問による集落点検を実施していない自治会のうち、特に高齢化率の高い地域を優先的に訪問し、あわせて自治会単位での集会にも参加させていただいている。集会では、点検で寄せられた意見を踏まえ、課題や関心に沿った議題の提案、市が実施している各種支援制度の紹介などを行っています。

7月から8月にかけては、下南自治会にて集落点検を実施しました。下南自治会は高齢化率77%、全19世帯と、祖生の中でも特に高齢化が進み人口の少ない自治会です。また、この自治会は天兼地区と四割地区の2地区に分かれ、それぞれ別々に集会を開かれてい

ます。9月7日には天兼集会（写真上）、11日には四割集会（写真下）に参加し、地元の皆様から直接お話を伺える貴重な機会となりました。

集会では、集落点検で寄せられたご意見をもとに、市や社協が提供している各種サービスを紹介しました。具体的に、市の制度としては「空き家バンク」「タクシー利用券が使用できるタクシー業者一覧」「防犯灯設置事業費補助金」などを、社協の支援としては「草刈り等を行う事業所の情報」「生活支援ワンコイン事業」「高齢者生きがいボランティアグループ事業」「食料品・日用品などを自宅に配達してくれるお店」「祖生地区で開催されているサロン一覧」などを紹介

いたしました。

天兼地区では、「これからサロンを立ち上げてみたい」という住民の方がおられ、サロン開設に必要な情報や手続きについてお伝えしました。今後も連絡を取りあいながら、サロンの実現に向けて協力していかなければと思います。また四割地区では、これまで年に数回不定期で行っていた集会を、今後は毎月定期的に開催していく方針になり、地元のつながりをさらに深める動きが見られました。

下南自治会の皆様には、とても温かく迎えていただき、率直なご意見をお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。今後も連携を深め、皆様が安心して暮らせる環境づくりの話し合い活動促進に努めてまいります。

